

## 1 題目設定・教材・授業のねらい

日時	28 10 15	(9:30 10:20)
場所		
学年・組	43 ( 22 21 )	
題目	いろいろな「 」の	
目標	りの の の や い の いを じる。 された を し にまとめる を につける。 を い し て じたことを したり が づかなかつた を る。 の ( の テ の が なるもの)を き べ それぞれ の や さを する。	
教材	シ ベ ト ゲ テ 「 」	
指導計画	2.5 の による やドイツ の による の を して の と との わりについて する。 の を き べ それぞれの や さを する。 1.5 ( は の )	

### 授業について

シ ベ ト 「 」は の の と の が わかりやすく “ どもはなぜ  
んでしまったのか” “ゲ テはなぜこのような を つくつたのか” という が に る で  
に の ある である。  
のテ について を する で 「 」の とアクティブ ニグを  
びつけることを えた。 でも べたように では アクティブ ニグの り  
みにおいて ( ) を して を めること ( ) を “ ” することを  
して を める。( )の は の から う。( )の の “ ” は  
や クシ トへの などの を えている。  
における のための は 「18 の によるシ ベ ト 」という  
のなかから の① ④の つの を り げる。  
①ソプ ノ ドイツ によるもの( はドイツ ) テ が して い  
②ア ト ドイツ のつけ が  
③ を の (テノ バス  イソプ ノ)で い けているもの フ ス  
による ( はピアノ )  
④ソプ ノ ドイツ の が  
や のつけ や の いに して かせ の さや さに づかせたい。  
では ①と②の について にテ の に して した。 では ③と④の につ  
いて に に して する。

## 2 学習指導案

### 本時の学習目標

の「 」の を や の いに して き それぞれの の を じる。  
の を い して じたことを したり づかなかつた を る。

**本時の評価規準（観点/方法）**

への ア	の エ
の「 」の を することに をもち に に り むとともに の を いて をさらに めようとしている。 / クシ ト	の「 」の を に に して き それぞれの について のことばで できる。 / クシ ト

**本時の学習指導過程**

	の
の の	の を し (③と④)の「 」を することを る。
での	③ ④の を ク ス で く。
への をも とにした	に した を クシ ト にことばで する。
グ プ での のまと め	の クシ トをもとに グ プ で する。 ダ は し いを め サブ ダ は を してグ プ の クシ ト に する。 10 グ プの ダ は を す る。 いに く。
の に よる かめ	③ ④の を ク ス で く。 された を で かめる。
まとめ のまとめ け	クシ トに のまとめを し する。 の を う。
「 の 」 「18 の による 」	クシ ト
グ プ カド	グ

**3 反省と課題**

の つの すなわち「 」のいろいろな を することと アクティブ ニグの り みで の から ぶという は の や クシ ト から に できた。 からグ プ に り んでいたため の

での においても はよく し い することができた。  
アクティブ ニ グは と の が イ トであるが 50 の でその  
を に するのは しい。アクティブ ニ グのあり を き き していきたい。